
第 3 章 プリンターの構成

概要

重要: 構成はプリンターの作動に直接影響を与えます。本章の手順に習熟するまでは、プリンターの構成は変更しないでください。

データを印刷するためには、プリンターはホスト・コンピューターから受け取られた信号およびコマンドに対して正しく応答する必要があります。構成は、プリンターの作動特性をホスト・コンピューターの作動特性と、またラベルの印刷や異なるサイズの用紙への印刷など特定のタスクと一致させるプロセスです。ホスト・コンピューターから受け取った信号およびコマンドに対するプリンターの応答を定義する特性は、構成パラメーターと呼ばれます。

オペレーター・パネルのキーを押すことによって、あるいはホスト・コンピューターから制御コードを送ることによって、プリンターを構成することができます。本章では、オペレーター・パネルを使用して個々のパラメーターを変更して、それらをカスタム構成として保管する方法を説明します。

プログラマーの解説書では、制御コードに関する情報が記載されています。

構成

構成は、行送り、用紙長などのパラメーターのグループで構成されます。プリンターには、次の構成が含まれます。

- プリンターのセットアップ用にカスタマイズされた 4 つのプリロード済みの構成。
- 工場出荷時のデフォルト構成。これはロードできますが、変更することはできません。すべてのパラメーターおよびそれらの値のリストは、66 ページ以降に記載されています。
- 特定の印刷ジョブ要件のためにカスタマイズすることができる 4 つの構成。構成のカスタマイズ方法については、73 ページに説明が記載されています。

アクティブ構成と保管構成

パラメーター値を変更すると、それはプリンターの電源がオンである限り、または再び変更されるまで、有効です。このことは、オペレーター・パネルを使用する場合でも、ホストから制御コードを送る場合でも当てはまります。制御コードによって定義されたパラメーター値は、プリンターがパラレルまたはシリアル・インターフェースのどれかを使用しているときは、アクティブのオペレーター・パネル・パラメーターを指定変更します。たとえば、行送りをオペレーター・パネルを使って 6 lpi に設定し、アプリケーション・ソフトウェアがその後これを制御コードで 8 lpi に変更する場合、制御コード設定はオペレーター・パネル設定を指定変更しません。

オペレーター・パネルを使用して、パラメーターを、不揮発性ランダム・アクセス・メモリー (NVRAM) に保管されるカスタマイズされた構成として保管することができます。保管構成は、プリンターの電源がオフになっても失われません。

注: 保管構成は「カスタム設定」とも呼ばれます。

パラメーターを NVRAM に保管することを可能にする制御コードはありません。ただし、制御コードによって部分的に定義された構成を保管し、オペレーター・パネルを使ってその構成を NVRAM に保管することはできます。PTR_SETUP を使って構成値を保管することもできます (86 ページを参照)。

構成メインメニュー

63 ページの図 65 は、プリンター構成メニューの概要を示しています。次ページでは、プログラム・モードへの入り方、現在の構成の印刷方法、構成パラメーターの変更方法、およびカスタム設定の保管とロードの方法について説明します。

具体的な構成メニュー・オプションおよびそれらの説明については、79 ページの『構成の概要』を参照してください。

注: オペレーター・パネルから表示されるメニューは、取り付けられた機構によって決まります。

各機構は、機構を詳しく説明する資料とともに配送されます。これらの資料について詳しくは、xv ページの『関連資料』を参照してください。

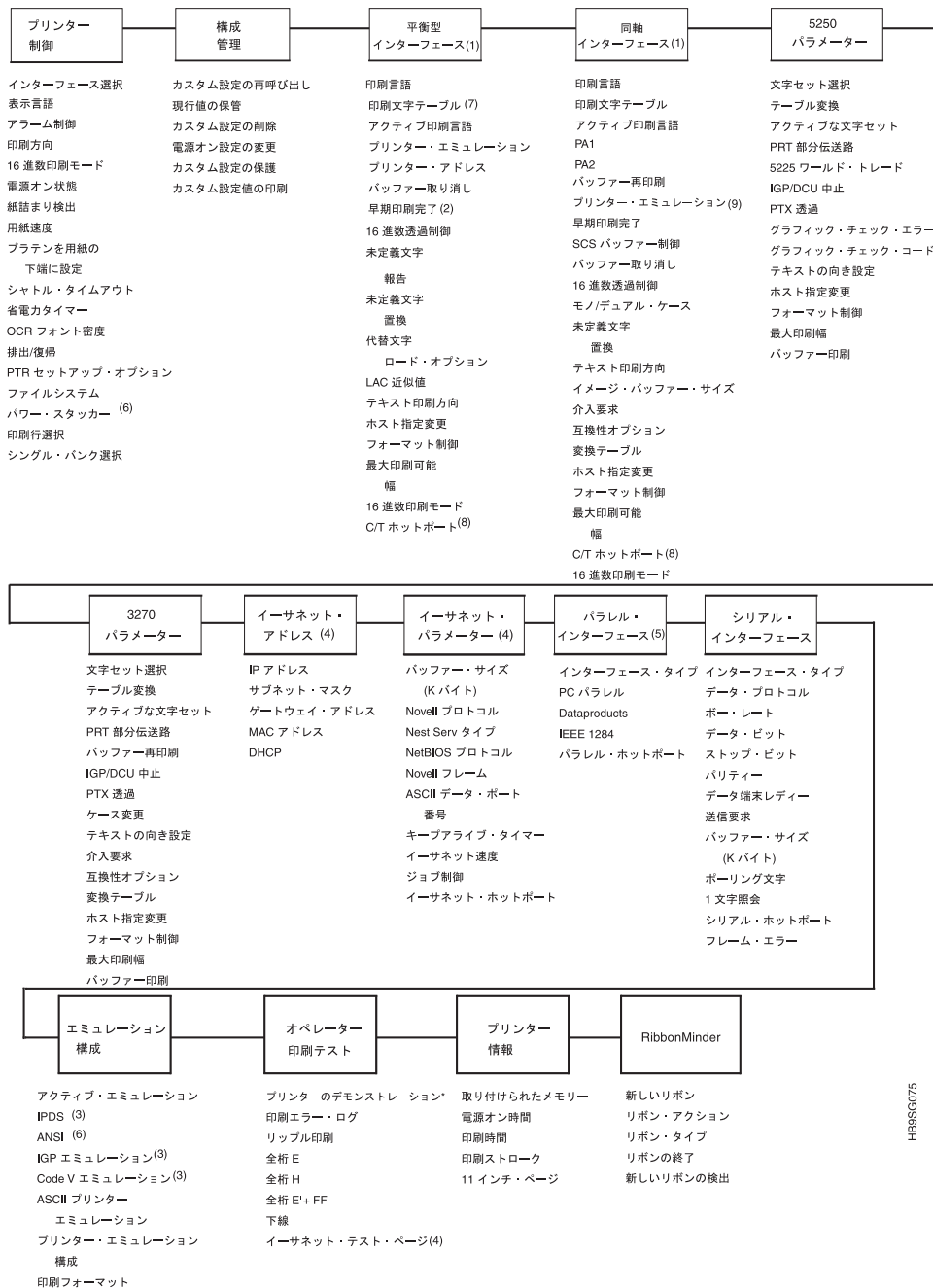


図 65. 構成メインメニュー

注: (1) 同軸/平衡型インターフェース・メニューは、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。

(2) 「早期印刷完了」オプションは、IPDS 機構が取り付けられている場合にのみ平衡型メニューに表示されます。

(3) IPDS、Code V Emulation、および IGP Emulation の各オプションは、それぞれの機構が取り付けられている場合にのみメニューに表示されます。メニューは『付録 D』に示されています。

- (4) イーサネット情報は、イーサネット機構が取り付けられている場合にのみ表示されます。
- (5) イーサネット・インターフェース・メニューまたはパラレル・インターフェース・メニューは、いずれか一方が表示されます。両方が同時に表示されることはありません。
- (6) 取り付けられている場合。
- (7) 4234-12 が IPDS コードを実行中ではない場合。
- (8) 「Autoswitching」を使用可能にしてある場合のみ。
- (9) 「Coax Emulation」を使用可能にしてある場合のみ。

オペレーター・パネルの使用

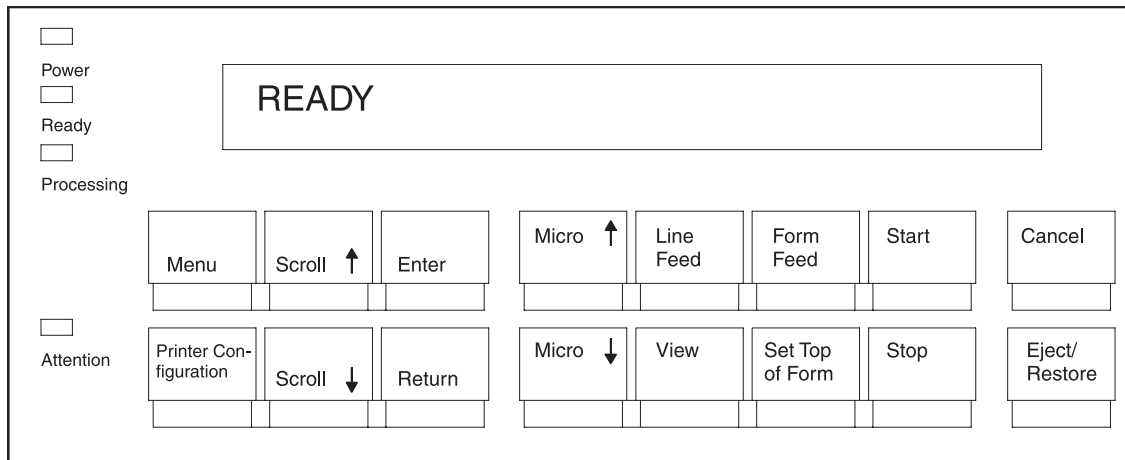


図 66. オペレーター・パネル

オペレーター・パネルを上に表示します。構成プロセス中、オペレーター・パネル上の「**Scroll**↑」、「**Scroll**↓」、「**Enter**」、および「**Return**」キーを使用して、構成設定および診断テストに構成メニューを介してアクセスします。メニューおよびオプション・メニューにアクセスすると、メニュー名およびオプション値がオペレーター・パネルのメッセージ・ディスプレイ (LCD、または液晶ディスプレイと呼ばれることもある) に表示されます。

本章では、オペレーター・パネルのキーおよびインディケータ・メッセージ・ディスプレイを使用したプリンターの構成方法の例を数多く示してあります。

プログラム・モード

プリンターは、構成メニューおよびオプション値がオペレーター・パネルのメッセージ・ディスプレイに表示されるときは、常にプログラム・モードにあります。プログラム・モードはロックまたはアンロックのいずれかです。新しい構成値を選択するためには、プログラム・モードをアンロックする必要があります。構成設定が誤って変更されるのを防ぐためには、プログラム・モードをロックしておきます。

プログラム・モードのアンロック

オペレーター・パネルを使用して構成設定値を変更するためには、プログラム・モードをアンロックしておく必要があります。プログラム・モードがアンロックされているとき、「Enter」キーを押すと構成値はアクティブ値として選択されます。すなわち、プリンターの DRAM に入れられます。表示された設定の後ろのアスタリスク (*) は、それがメモリーに入力されることを示しています。

「Scroll↑+ Scroll↓」キーを同時に押すと、プログラム・モードはアンロックされます。次のメッセージが短時間表示されます。

```
OPERATOR MENU
UNLOCKED
```

プログラム・モードのロック

プログラム・モードがロックされているときは、オペレーター・パネルを使用して構成設定値を変更することができません。ただし、構成メニューを選択して、現在の構成設定値を表示することはできます。

「Scroll↑+ Scroll↓」キーを同時に押すと、プログラム・モードはロックされます。次のメッセージが短時間表示されます。

```
OPERATOR MENU
UNLOCKED
```

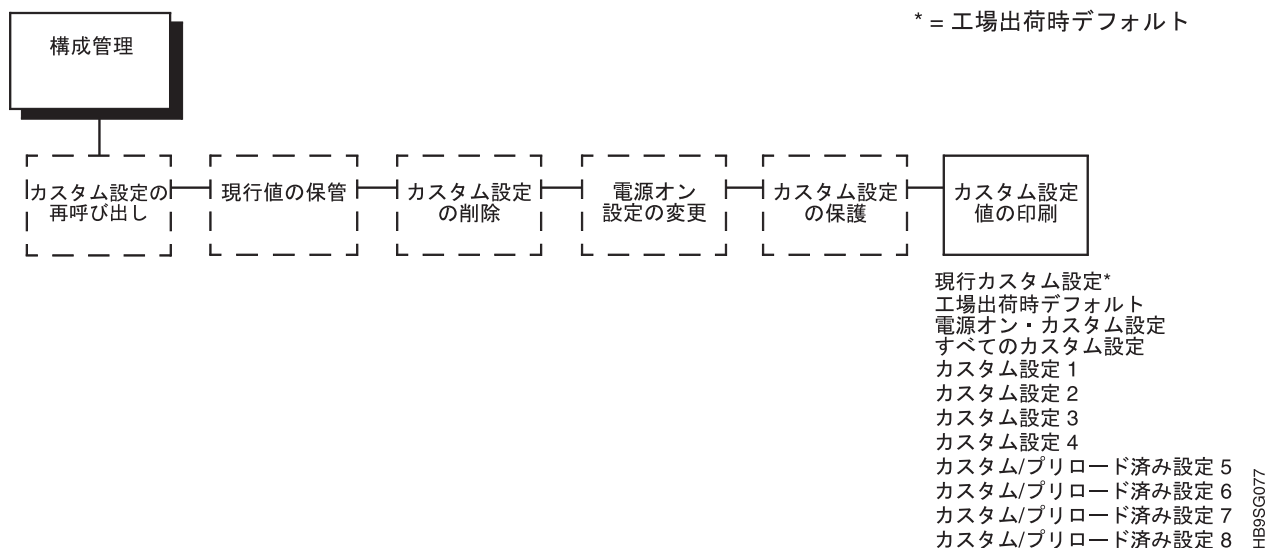
プログラム・モードに入る

プリンターをプログラム・モードにするには、「Menu」キーを押します。

現在の構成の印刷

ステップ	キー	LCD 結果	注
1. プリンターのスイッチがオンになっていることを確認します。			
2. 押す		NOT READY	構成を印刷するには、プリンターを NOT READY モードにしておきます。
3.		PRESS START TO PRINT PRESS STOP TO EXIT	構成を印刷する前に Start キーを押すように指示されます。
4.		NOT READY	構成が印刷されたことを示します。印刷出力に日付を記入して、安全な場所に保管しておきます。印刷出力にタイトルを付けることもできます（「Configuration for 2-up Labels」など）。
5.		READY	プリンターは通常の操作について準備完了です。

現在の構成、ならびに他のいくつかの構成を印刷する第 2 の方法は、次のページの「Print Custom Set Values」(カスタム設定値の印刷) というメニュー・オプションを使用することです。



Configuration Management (構成管理) メニューの Print Custom Set Values (カスタム設定値印刷) の選択により、上に示されている構成のすべてのあるいは任意の構成を印刷することができます。デフォルト設定の「現行カスタム設定」は、「Printer Configuration」キーが押されたときと同じ情報を印刷します。現行カスタム設定は、プリンターの構成の変更を開始するまでは、電源オン構成です。

カスタム設定 1 ~ 4 は、構成パラメーターを保管するまでは存在しません。カスタム設定の定義および保管を行わないと、それらを印刷することはできません。

カスタム/プリロード済み設定 5 ~ 8 には、このプリンターの設置および構成を援助する構成設定が含まれています。

プリンターの構成パラメーターの設定を変更または保管してからでないと、他のオプションは使えません。

電源オン・カスタム設定は「電源オン設定の変更」オプションによって定義されません。

カスタム設定 1 ~ 8 は「現行値の保管」オプションによって定義されます。

これらのオプションについては、88 ページ以降に記載されている構成管理メニューの説明で詳しく説明します。

工場出荷時デフォルト構成値

工場出荷デフォルト値は、構成として永続的に保管されています。それらは変更または消去することはできません。表示されるパラメーターは、どのインターフェースおよびエミュレーションが取り付けられているかによって異なります。

構成

下記は典型的な工場出荷時デフォルト構成です。お客様の工場出荷時デフォルト構成は、プリンターに取り付けられている機構によって異なります。

現行の電源オン構成 - 工場出荷時構成

IBM Printer Configuration	
File Part Number	XXXXXXXX Date XX-XXX-XXXX
Reference Number	XXXXXXXX
DC	V2.04D XX-XXX-XX #XXXXXXXX
EC	V2.01B XX-XXX-XX #XXXXXXXX
BOOT/CMX	V1.05E XX-XXX-XX #XXXXXXXX
SHUTTLE TYPE	1500
FLASH	8 MB
DRAM	8 MB
SECURITY PAL [®]	XXXXXXXX-XXX
CONFIGURATION CODE	FC06FF

プリンター制御

インターフェース の選択	パラレル
表示言語	英語
アラーム制御	アラーム使用可能
印刷方向	双方向
16 進数印刷モード	使用不可
電源オン状態	レディー
紙詰まり検出	使用可能
用紙速度	通常速度
プラテンを用紙の 下端に設定	使用不可
シャトル・タイム アウト	5 秒
省電カタイマー	15 分
OCR フォント密度	120 ドット/インチ
排出/復帰	標準
PTR 設定オプション	
Parse 設定	使用不可
SFCC 設定	21 時間
ファイルシステム	
上書きファイル	使用可能

ファイル・リスト の表示	93779.sf	177228 バイト
	Plugin.cdm	122066 バイト
	HQ3UPDT.cdm	53480 バイト
	Pluginfp.cdm	206161 バイト
	IF.fnt	339 バイト
	HQ3.fnt	444 バイト
	UIF.ss	21646 バイト
	Plugin.ttf	26928 バイト
	UTT.ss	16582 バイト
バージョン		67 バイト
Network.dat		1210 バイト
PTXLogo.gif		1210 バイト
Ethload		2191652 バイト
Printron.ec1		262400 バイト
最適化とリブート ファイル・リスト の印刷		

構成管理		
カスタム設定の再 呼び出し		工場出荷時デフォルト
現行値の保管		カスタム設定 1
カスタム設定の削 除		カスタム設定 1
電源オン設定の変更		工場出荷時デフォルト
カスタム設定の保護		使用不可
カスタム設定値の印刷		すべてのカスタム設定
パラレル・インターフェース		
インターフェー ス・タイプ		PC パラレル
PC パラレル		
	データ・ビット 8	使用可能
	データ極性	標準
	ストローブ極性	標準
	応答極性	標準
	使用中ストローブ	使用可能
	データ・ラッチ・ オン	前縁
	プライム信号	使用可能
	プライム信号での TOF アクション	リセット時の用紙送り
	バッファ・サイズ (K バイト単位)	16

Dataproducts		
データ・ビット	8	使用可能
PI 無視		使用可能
データ極性		標準
データ要求極性		標準
ストロブ極性		標準
パラレル・ホットポート		
トリクル時間		1/4 秒
タイムアウト		10 秒
状況報告		使用不可
シリアル・インターフェース		
インターフェース・タイプ		RS 232
データ・プロトコル		XON/XOFF
ボー・レート		9600 ボー
データ・ビット		8
ストップ・ビット		1
パリティ		なし
データ端末レディー		レディーおよびバッファ ーが満杯でない
送信要求		真
バッファ・サイズ (K バイト単位)		16
ポーリング文字		00 Hex
1 文字照会		使用不可
シリアル・ホット ポート		
トリクル時間		1/4 秒
タイムアウト		10 秒
状況報告		使用不可
フレーム・エラー		使用可能
エミュレーション構成		
アクティブ・グラフィック・エミュ レーション		IGP
IGP エミュレーシ ョン		
CR コード定義		CR = CR
LF コード定義		LF = LF
自動 LF		使用不可
SFCC 選択		7E
PI 用紙送り範囲		16
CR 編集		使用不可
フォント選択		0

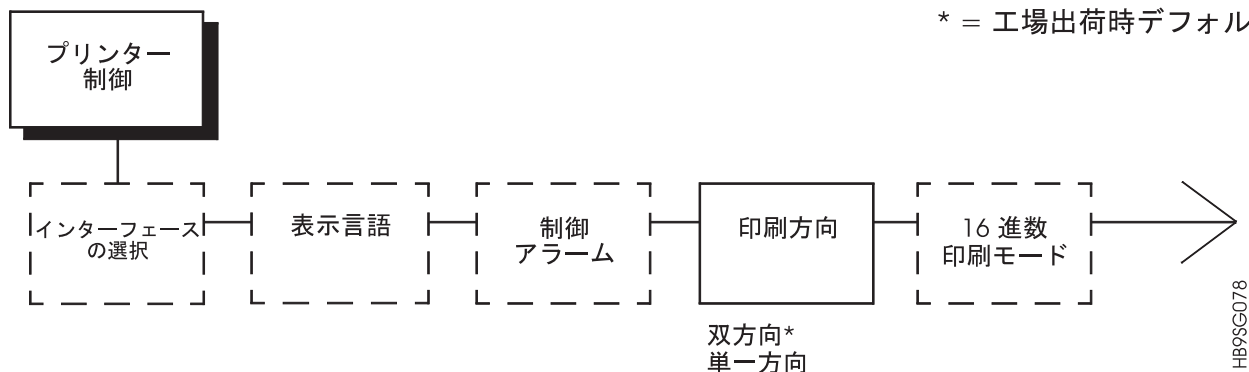
スラッシュ 0	使用不可
行/インチ	6 行/インチ
モノデュアル・ケース	デュアル・ケース
コマンド接頭部スキップ	使用可能
電源オン IGP	使用可能
Ext 実行コピー	使用不可
UPC ディセンダー	使用可能
長体 CPI	使用不可
無視文字	
	無視モード
	文字選択
	使用不可
	0
IGP100 互換性	なし
拡張フォント	ブロック
最適化比率	使用不可
ASCII プリンター・エミュレーション	P-Series エミュレーション
プリンター・エミュレーション構成	
Proprinter III XL エミュレーション	
印刷言語	0437 PC 文字セット
代替文字セット	PC 文字セット 1
CR コード定義	CR = CR
自動 LF	使用可能
LF コード定義	LF = LF
TOF で FF 有効	使用可能
20 CPI 圧縮	使用可能
Epson エミュレーション	
文字セット	Epson セット
Epson 印刷言語	ASCII (米国)
CR コード定義	CR = CR
自動 LF	使用可能
LF コード定義	LF = LF
プリンター選択	使用不可
20 CPI 圧縮	使用可能
P-Series エミュレーション	
文字セット	IBM PC
印刷言語	
	IBM PC
	ASCII (米国)
	各国間
	ASCII (米国)
	EMCA Latin 1

	DEC 各国間	ASCII (米国)
	制御コード 06	8.0 LPI
	制御コード 08	延長
	CR コード定義	CR = CR
	自動 LF	使用不可
	重ね打ち	使用可能
	LF コード定義	LF = CR + LF
	SFCC 選択	1
	代替セット 80 ~ 9F	制御コード
P-Series XQ	エミュレーション	
	制御コード 06	8.0 LPI
	CR コード定義	CR = CR
	自動 LF	使用不可
	LF コード定義	LF = CR + LF
	圧縮印刷	文字 01 SOH
	伸長/代替フォント	ElnG = BS Font = SO
	高速印刷モード	文字 02 STX
	EVFU 選択	使用可能
	大文字選択	使用不可
	用紙送り	1 ~ 16 行
Serial Matrix	エミュレーション	
	文字セット	IBM PC
	印刷言語	
	IBM PC	
	各国間	
	制御コード 06	8.0 LPI
	CR コード定義	CR = CR
	自動 LF	使用可能
	重ね打ち	使用可能
	LF コード定義	LF = LF
	プリンター選択	使用不可
	代替 80 ~ 9F	制御コード
印刷フォーマット		
	文字数/インチ	10.0 文字数/インチ
	行/インチ	6.0 行/インチ
	DBCS CPI	6.7 CPI
	用紙幅	
	用紙幅 (インチ単位)	13.6 インチ
	用紙幅 (MM 単位)	345.4 MM
	用紙幅 (インチ単位)	
	文字	136 文字
	用紙長	

	用紙長 (インチ単位)	11.0 インチ
	用紙長 (MM 単位)	279.4 mm
	用紙長 (行数)	66 行
印刷品質		DP 品質
印刷文字テーブル		
印刷属性		
	プロポーショナル・スペーシング	使用不可
	イタリック印刷	使用不可
	スラッシュ 0	使用不可
	テキスト位置	行の終端
マージン		
	左マージン	0 文字
	右マージン	0 文字
	下部マージン	0 行
	ミシン目スキップ	使用不可
	リセット・コマンド	工場ロード
オペレーター印刷テスト		プリンター・デモンストレーション
プリンター情報		
取り付けられたメモリー		8 MB
電源オン時間:		XXX.X 時間
印刷時間:		XX 時間
印刷ストローク		XXXXXXXX
11 インチ・ページ		XXXX
RIBBONMINDER		
	新しいリボン	99%
	リボン・アクション	表示
	リボン・タイプ	Gold Series 90
	リボンの終了	通常
	新しいリボンの検出	使用可能

パラメーターの変更

* = 工場出荷時デフォルト



次の手順は、構成設定の変更方法を示しています。印刷方向を工場デフォルト出荷値である双方向から単一方向へ変更する例が示されています。印刷方向は「Printer Control」（プリンター制御）メニュー・オプションの 1 つです。手順は他の構成変更と似ています。これらの基本ガイドラインを使用して、構成メニューをナビゲートし、他のパラメーターを変更します。

注: Start を押して、いつでも構成メニューを終了することができます。

ステップ	キー	LCD 結果	注
1.			変更しようとするパラメーターおよびそれらの新しい値を決めます。この例では、「PRINT DIRECTION」（印刷方向）パラメーターの値を「BIDIRECTIONAL」（双方向）から「UNIDIRECTIONAL」（単一方向）に変更します。
2.		NOT READY	オペレーター・メニューに入る前に、プリンターを NOT READY モードにします。
3.		OPERATOR MENU UNLOCKED	オペレーター・メニューをアンロックして、構成変更を可能な状態にします。
4.		OPERATOR MENU PRINTER CONTROL	最初の構成メイン・メニュー・オプションの「PRINTER CONTROL」（プリンター制御）が表示されます。
5.		PRINTER CONTROL INTERFACE SELECTION	「PRINTER CONTROL」メニューに移動します。
6.	次の表示まで押す	PRINTER CONTROL PRINT DIRECTION	「PRINT DIRECTION」パラメーターに移動します。
7.		PRINT DIRECTION BIDIRECTIONAL*	「PRINT DIRECTION」メニューに移動します。アスタリスク (*) は、この値がアクティブであることを示します。
8.		PRINT DIRECTION UNIDIRECTIONAL	次の使用可能なオプションの「UNIDIRECTIONAL」に移動します。
9.		PRINT DIRECTION UNIDIRECTIONAL*	表示される値を選択します。アスタリスク (*) は、選択された値がアクティブになっていることを示します。
10.			本章の説明に従って、同様な方法ですべての変更を行います。

ステップ	キー	LCD 結果	注
11.			プリンターをリセットしたり、電源を入れなおしたときに、変更が有効になるように変更を保管する方法については、74 ページの図 67 を参照してください。保管せずにこれらの設定値を使用する場合は、次のステップに進みます。
12.		NOT READY	プリンターを NOT READY モードに戻します。
13.		OPERATOR MENU LOCKED	プログラム・モードとオペレーター・メニューをロックします。
14.		READY	プリンターを READY モードにして、通常の操作の準備します。

構成をカスタム設定に保管

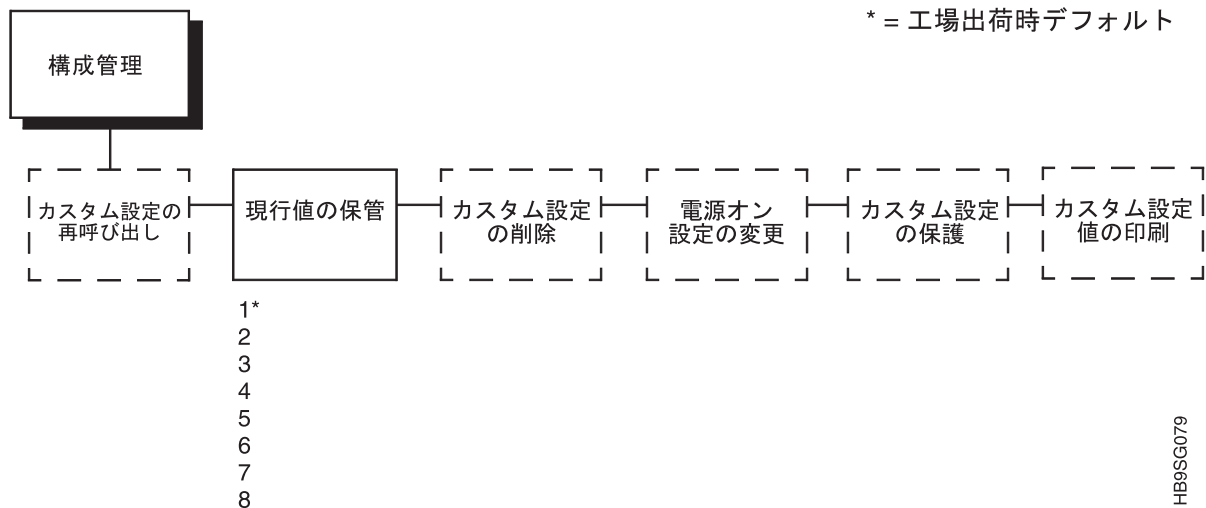


図 67.

必要なパラメーターをすべて変更したら、その構成内容を保管して、将来の使用に備えて保管やロードができるようにすることをお勧めします。さまざまな印刷ジョブ要件に合わせて構成を保管することができます。

保管された構成 (カスタム設定とも呼ばれる) は NVRAM に保管されます。これらは、プリンターの電源がオフにされても失われません。

後で、特定の印刷ジョブのためにその構成の 1 つをロードできます。これにより、新しいジョブのために設定 (CPI や LPI など) を変更する必要はなくなります。構成のロード方法については、76 ページを参照してください。

自分の構成の記録を印刷し (65 ページを参照)、プリンター・キャビネット内などの安全な場所に保管しておくことができます。

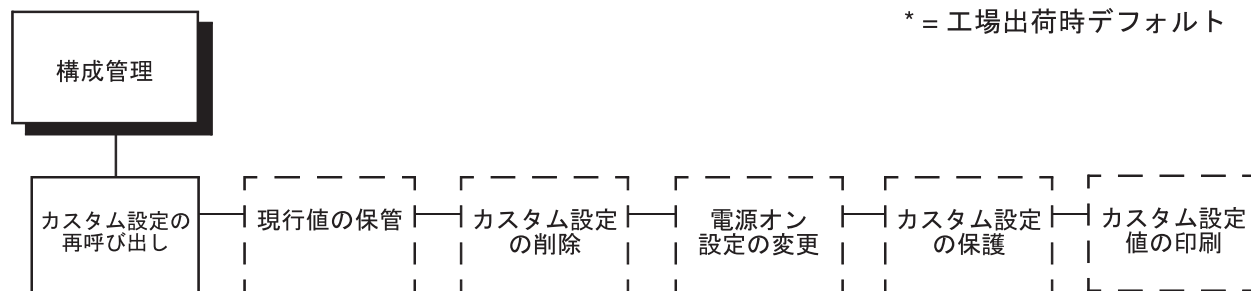
プリンターの電源をオフにする前に自分の構成を保管しないと、NVRAM に保管されていない新しいパラメーター値はすべて消去されます。プリンターの電源を再び

入れると、電源オン構成がロードされます。電源オン構成として何も構成が指定されていない場合は、工場出荷時の構成がロードされます。

注: 既存のカスタム設定を上書きしてしまうことを避けるためには、カスタム設定保護パラメーターを ENABLE に設定しておく必要があります。
詳しくは、90 ページを参照してください。

ステップ	キー	LCD 結果	注
1. 押す		NOT READY	プリンターを NOT READY モードにします。
2.		OPERATOR MENU UNLOCKED	オペレーター・メニューをアンロックして、構成変更を可能な状態にします。
3.		OPERATOR MENU PRINTER CONTROL	最初の構成メイン・メニュー・オプションの「PRINTER CONTROL」(プリンター制御)が表示されます。
4.	 次の表示まで押す	OPERATOR MENU CONFIGURATION MANAGEMENT	「Configuration Management」メニュー・オプションに移動します。
5.		CONFIGURATION MANAGEMENT RECALL CUSTOM SET	「CONFIGURATION MANAGEMENT」メニューを選択します。「RECALL CUSTOM SET」オプションが表示されず。
6.	 次の表示まで押す	CONFIGURATION MANAGEMENT SAVE CURRENT VALUES	「SAVE CURRENT VALUES」オプションに移動します。
7.		SAVE CURRENT VALUES 1*	「SAVE CURRENT VALUES」メニューを選択します。
8.	 次の表示まで押す	SAVE CURRENT VALUES 2	カスタム設定リスト 1 ~ 8 をスクロールします。
9.		SAVING CONFIGURATION	「SAVE CURRENT VALUES」(現行値保管)オプションを選択します。「SAVING CONFIGURATION」のメッセージが短時間表示されます。
10.		NOT READY	プリンターを NOT READY モードに戻します。
11.		OPERATOR MENU LOCKED	プログラム・モードとオペレーター・メニューをロックします。
12.		READY	プリンターを READY モードにして、通常の操作の準備します。
13.	65 ページに説明されているように、現在の構成内容を印刷しておくことを推奨します。		

カスタム設定または工場出荷値のロード



* = 工場出荷時デフォルト

工場出荷時デフォルト*



- カスタム設定 1
- カスタム設定 2
- カスタム設定 3
- カスタム設定 4
- カスタム/プリロード済み設定 5
- カスタム/プリロード済み設定 6
- カスタム/プリロード済み設定 7
- カスタム/プリロード済み設定 8

HB9SG080

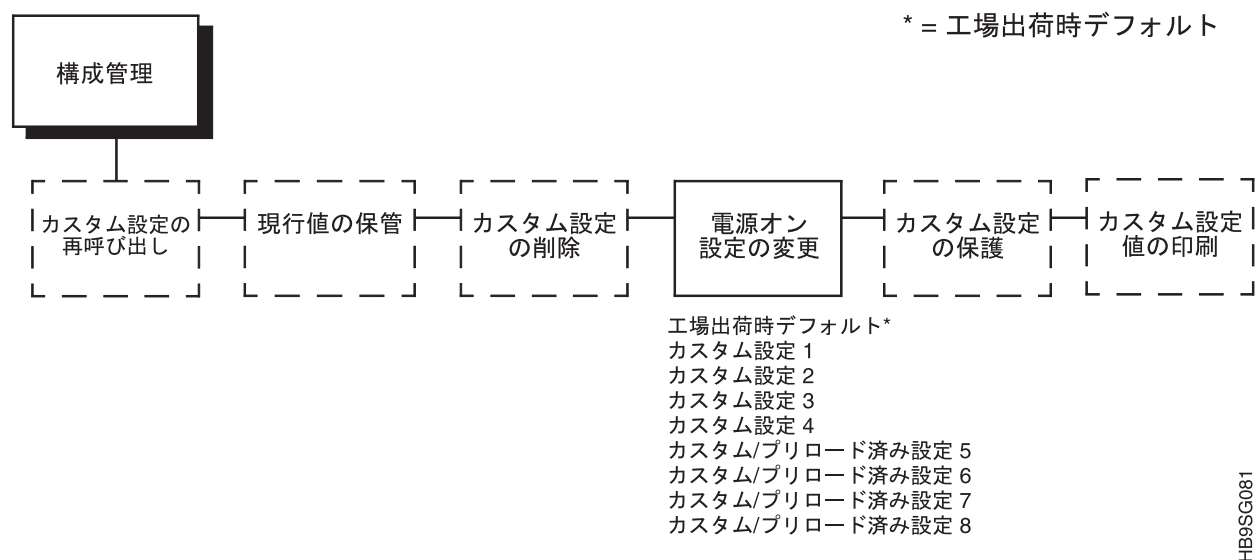
カスタム設定構成または工場出荷時のデフォルト構成のどれでもロードすることができます。工場出荷時のパラメータは 66 ページ以降に記載されています。ロードされた構成はプリンターがオンの間はアクティブのままです。次の手順は工場出荷デフォルト値をプリンターへロードする方法を示しています。

プリンターの電源をオフにすると、次にプリンターの電源をオンにしたときに電源オン構成がロードされます。電源オン構成の選択については、77 ページに説明が記載されています。

ステップ	キー	LCD 結果	注
1. 押す		NOT READY	プリンターを NOT READY モードにします。
2.		OPERATOR MENU UNLOCKED	オペレーター・メニューをアンロックして、構成変更を可能な状態にします。
3.		OPERATOR MENU PRINTER CONTROL	最初の構成メインメニュー・オプションの「PRINTER CONTROL」(プリンター制御)が表示されます。
4.	次の表示まで押す	OPERATOR MENU CONFIGURATION MANAGEMENT	「Configuration Management」メニュー・オプションに移動します。
5.		CONFIGURATION MANAGEMENT RECALL CUSTOM SET	「CONFIGURATION MANAGEMENT」メニューを選択します。「RECALL CUSTOM SET」オプションが表示されません。
6.		RECALL CUSTOM SET FACTORY DEFAULT	「RECALL CUSTOM SET」オプションの「FACTORY DEFAULT」パラメータに移動します。

ステップ	キー	LCD 結果	注
7.		LOADING SAVED CONFIGURATION	「Factory Default」（工場出荷デフォルト値）の設定をロードします。「LOADING SAVED CONFIGURATION」のメッセージが短時間表示されます。
8.		NOT READY	プリンターを NOT READY モードに戻します。
9.		OPERATOR MENU LOCKED	プログラム・モードとオペレーター・メニューをロックします。
10.		READY	プリンターを READY モードにして、通常の操作の準備します。

電源オン構成の変更



プリンターの電源を初めてオンにしたときは、工場出荷時のデフォルト構成がロードされます。プリンターの電源をオフにしてから再びオンにすると、プリンターは、指定された電源オン構成（デフォルトでは、工場出荷デフォルト値に設定されている）をロードします。最後に保管された構成はロードしません。

電源オン設定変更オプションにより、構成値のカスタム設定を電源オン構成として選択することができます。次のページの例は、カスタム設定 1 を電源オン構成として選択する方法を示しています。

注: カスタム設定を電源オン・カスタム設定として使用する前に、必ずその定義および保管を行ってください。それを行わないと、現行の電源オン・カスタム設定が選択されたままになり、次のオペレーター・パネル・メッセージが表示されます。

042 CUSTOM SET DOES NOT EXIST
 SAVE FIRST

たとえば、電源オン・カスタム設定をカスタム設定 1 からカスタム設定 4 に変更しようとする際に、カスタム設定 4 が存在していない場合には、カスタム設定 1 が電源オン・カスタム設定のままになります。

ステップ	キー	LCD 結果	注
1. 押す		NOT READY	プリンターを NOT READY モードにします。
2.		OPERATOR MENU UNLOCKED	オペレーター・メニューをアンロックして、構成変更を可能な状態にします。
3.		OPERATOR MENU PRINTER CONTROL	最初の構成メインメニュー・オプションの「PRINTER CONTROL」(プリンター制御) が表示されます。
4.	 次の表示まで押す	OPERATOR MENU CONFIGURATION MANAGEMENT	「Configuration Management」メニュー・オプションに移動します。
5.		CONFIGURATION MANAGEMENT RECALL CUSTOM SET	「CONFIGURATION MANAGEMENT」メニューを選択します。「RECALL CUSTOM SET」オプションが表示されません。
6.		CONFIGURATION MANAGEMENT CHANGE POWER ON SET	「CHANGE POWER SET ON」パラメーターに移動します。
7.		CHANGE POWER ON SET FACTORY DEFAULT	最初の「POWER ON SET」オプションの「FACTORY DEFAULT」を表示します。
8.		CHANGE POWER ON SET CUSTOM SET 1	「CUSTOM SET 1 as the POWER ON SET」オプション値を表示します。
9.		CHANGE POWER ON SET CUSTOM SET 1*	変更が完了すると、アスタリスク (*) が表示されます。
10.		NOT READY	プリンターを NOT READY モードに戻します。
11.		OPERATOR MENU LOCKED	プログラム・モードとオペレーター・メニューをロックします。
12.		READY	プリンターを READY モードにして、通常の操作の準備します。